



さいとう よしのぶ
齊藤 好信 議員

介護職に関わる人たちも先行して 接種を受けられることが望ましい

町長 制度上可能な範囲で対応したい

介護の必要な高齢者と 子供の保護の対応

質問 昨年12月の一般質問で、在宅介護をしている家族または、ひとり親世帯が感染した場合、残された介護を必要な高齢者、子供の保護と対応を伺いましたが、具体的な対応、方針は明確になったのでしょうか。

町長 感染症対策本部において、2月に「下川町感染症対策マニユアル」に対応策を盛り込む改正を行いました。

次に、ワクチン接種の優先順位に、医療従事者とともに、高齢者との接触度が高い介護職に関わる人たちも先行して受けられることが望ましいと思います。町長の考えを伺います。

町長 感染症対策本部において、2月に「下川町感染症対策マニユアル」に対応策を盛り込む改正を行いました。介護認定を受けている方であれば、ケアマネージャーが、それ以外の方は保健師が、家族・親族で対応していただくのが基本であることを伝えます。それが困難な場合は、対策本部に保

健師、看護師、介護職員からなる支援チームを設置し、状況に応じて対応します。

再質問 支援チームでの対応方針が明確になったことは、町民の方にとっては大きな安心感が生まれると思います。万が一の場合は支援チームの皆さんにご尽力いただきたいと思っています。

保健福祉課長 医療従事者については、3月下旬。65歳以上の高齢者の方については、4月26日の週の予定に向けて、接種券の発行準備を進めているところです。接種会場としては、ハピネスで集団検診として、町立病院の医師、看護師が当たる体制は整っています。

GIGAスクール構想 について

質問 教育行政執行方針において、GIGAスクール構想事業に基づくICT環境の充実を求めるとの方針を示されましたが、情報教育としてのマナーや、留意点などについて扱う内容はすべて現場に任されているのが現状です。情報教育とともに情報倫理教育についてのカリキュラムの検討について伺います。

教育長 ICTと過剰な接触による弊害は確かに懸念されます。一つは、家庭における約束事として規定する必要があります。また、身体的に与える影響について、旭川医大の先生に講演会や講習会を行っています。SNSの使用に関しては、現在、下川町学校ICT教育推進協議会、研究推進委員会の2段階の組織を設置しており、そこで、いろいろな課題、具体的な構想を練り、教職員や子供

たちに伝えたいことを明確にしています。

再質問 タブレットを用いてリモート学習をした場合、情報環境が整っているところと整っていないところがあります。情報環境の整備には、ある程度の支援をしないと、差別化になってしまおうと思いますが、ここはどうでしょうか。

教育長 家庭への持ち帰りについてです。今お話しただいたとおり、通信環境に差があります。保護者に対して一回目のアンケート調査をした時に、そういった懸念も出ています。当面はタブレットの自宅への持ち帰りはしない方向です。家庭における通信環境は、どのように整備するかは未定です。これは家庭様々な状況があり、これを町で全部整備するというのは非常に多大な経費がかかるというのには明確ですので、はっきりと申し上げられません。

※ICT、情報通信技術